

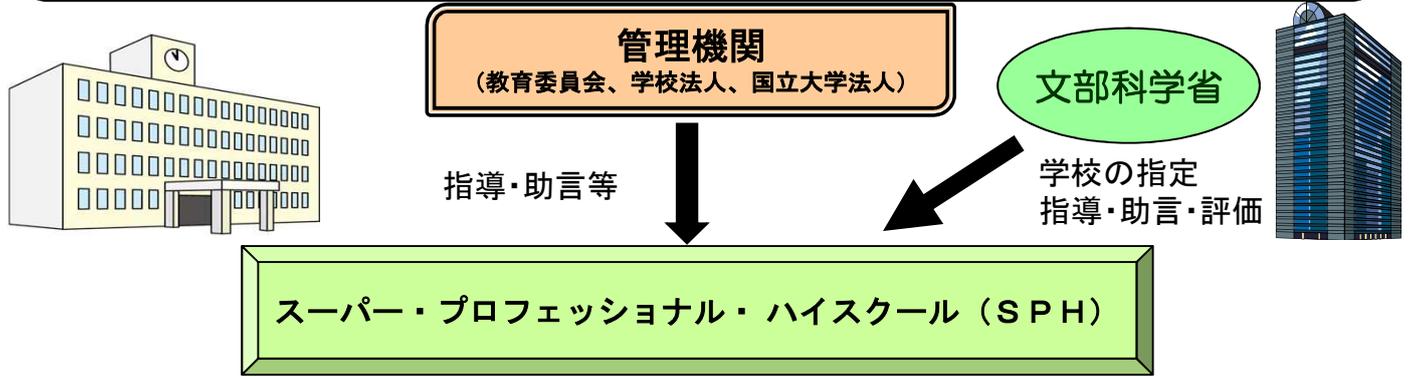
スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール 関係資料

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）

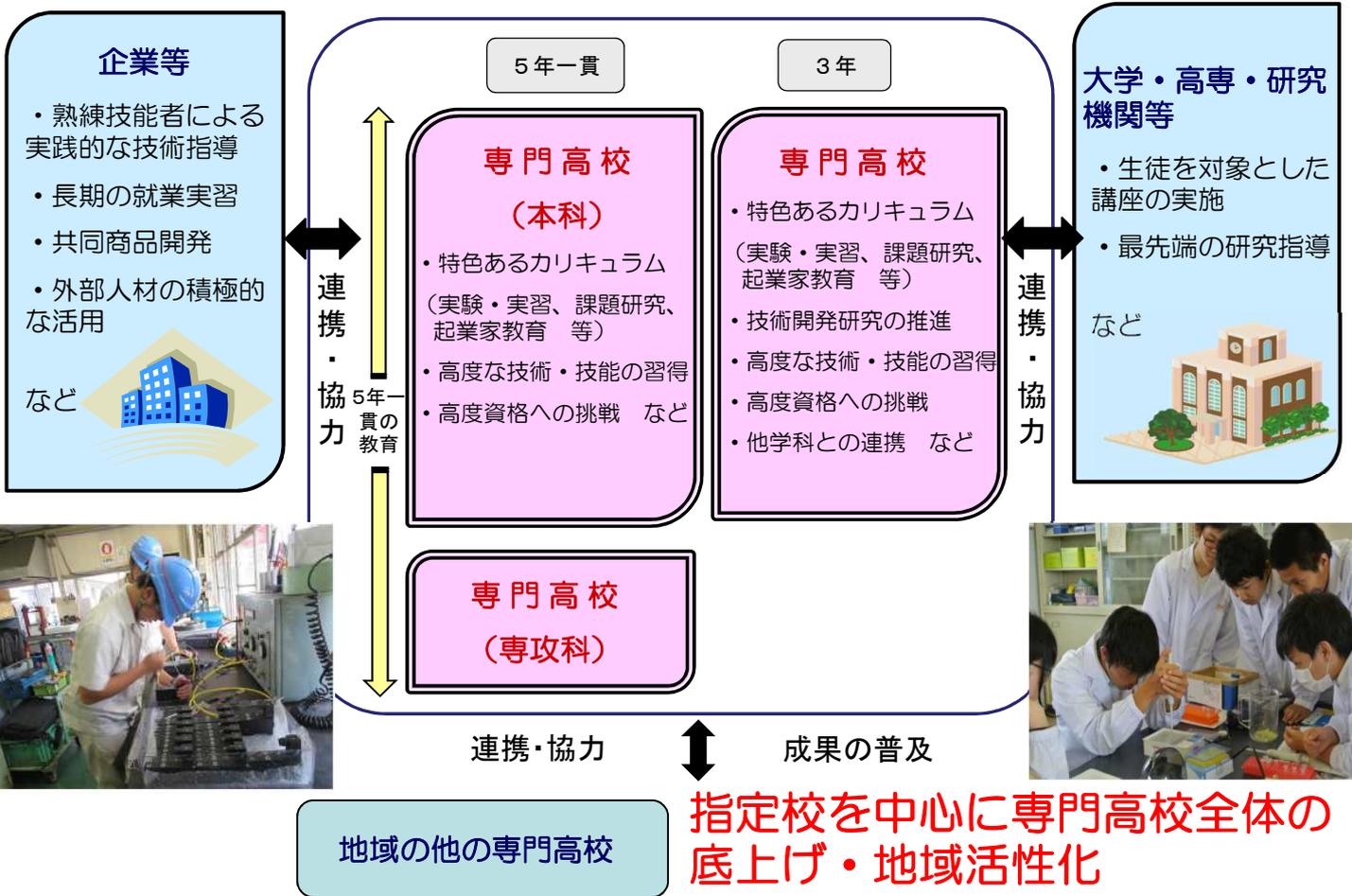
平成27年度予算額 123百万円
 平成28年度予算額（案） 164百万円

社会の変化や産業の動向等に対応した、高度な知識・技能を身に付け、社会の第一線で活躍できる専門的職業人を育成するため、先進的な卓越した取組を行う専門高校（専攻科を含む）を指定し、実践研究を行う。

【委託事業 対象：都道府県教育委員会等】



先進的な卓越した取組を行う専門高校（農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉の8学科）を指定。指定期間は3年（最大5年）。指定校数16校→24校へ。



我が国の産業の発展のため、社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成

スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定校一覧(都道府県順)

<平成26年度指定>

	都道府県	設置種別	学校名	実施学科
1	宮城県	公立	宮城県農業高等学校	農業
2	山形県	公立	山形県立酒田光陵高等学校	情報
3	埼玉県	公立	埼玉県立常盤高等学校	看護
4	石川県	公立	石川県立工業高等学校	工業
5	岐阜県	公立	岐阜県立岐阜商業高等学校	商業
6	静岡県	公立	静岡県立焼津水産高等学校	水産
7	愛知県	公立	愛知県立豊田工業高等学校	工業
8	兵庫県	公立	兵庫県立西脇高等学校	家庭
9	兵庫県	公立	兵庫県立龍野北高等学校	福祉
10	福岡県	公立	福岡県立福岡農業高等学校	農業

<平成27年度指定>

	都道府県	設置種別	学校名	実施学科
1	山形県	公立	山形県立加茂水産高等学校	水産
2	栃木県	公立	栃木県立宇都宮工業高等学校	工業
3	千葉県	公立	千葉県立千葉工業高等学校	工業
4	福井県	公立	福井県立若狭東高等学校	農業
5	岐阜県	公立	岐阜県立大垣桜高等学校	家庭
6	愛知県	公立	名古屋市立名古屋商業高等学校	商業
7	大阪府	公立	大阪市立淀商業高等学校	福祉
8	広島県	公立	広島県立庄原実業高等学校	農業
9	徳島県	公立	徳島県立徳島商業高等学校	商業
10	大分県	私立	昭和学園高等学校	看護

平成26年度スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール指定校
研究課題及び研究の概要

学校名	研究の概要
<p>宮城県 のうぎょう 農業高等学校 (農業)</p>	<p>【研究課題】 「日本最古の農業高校 震災・津波から復活の取組！地域で活躍する就農者増加に向けて」 ～志・知・技を持った就農者増加へのV字回復～</p> <p>【研究の概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学科（農業科、園芸科、生活科、食品化学科、農業機械科）の特徴を生かした、魅力ある農業モデルの学習プログラムを策定し、就農に向けた実践力を育成する。 ・就農者育成に向けて、農業を担当する教員の技術力やその実践力の向上のため、農家・農業法人での研修（一人10か所）を行い、復興を支える志のある生徒を育成する。 ・就農者を育成するため、農業の魅力について生徒、保護者に積極的な情報提供を行うとともに、他教科の教員に対しても農業の魅力を発信する取組を実施する。
<p>山形県立 さかたこうりょう 酒田光陵高等学校 (情報)</p>	<p>【研究課題】 「SKT（サカタ）IT-ACE プロジェクト」 地域や上級学校と連携し、「高度情報テクノロジー（IT）」、「アルゴリズム的思考力（AT）」、「システム想像力（SC）」、「高い職業倫理観（IE）」の4つを習得し、「世界を変える・未来を変える『IT技術者』の育成」を目指す研究。</p> <p>【研究の概要】</p> <p>学科「情報科」において、産業界や上級学校と連携して人材やスキルの提供を受け、教育内容を高度化し、高度情報化社会や情報産業に資する人材を育てていくこととし、以下3点の目標を設定して取り組む。</p> <p>ア 次世代の想像をリードしていく「IT技術者」の育成 イ 高度情報技術者を輩出するための教育プログラムの研究 ウ 地域からの「IT技術者」の発掘</p>
<p>埼玉県立 とまわ 常盤高等学校 (看護)</p>	<p>【研究課題】 5年一貫教育の特徴を生かした、看護専門職者を育成するための先進的なプログラムの研究開発 ～「豊かな人間性」「確かな知識・技術」「科学的思考・判断力」「生涯学び続ける力」を育てるために～</p> <p>【研究の概要】 「豊かな人間性」「確かな知識・技術」、「科学的思考・判断力」の育成を三つの柱とし、さらにこの三つを総括した「生涯学び続ける力」を育て、社会の第一線</p>

	<p>で活躍できる専門的職業人を育成することを目的に、以下の内容に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倫理に関する活動・講演会、被災地ボランティア ・デジタルコンテンツを用いた e-ラーニングによる授業 ・病院・企業との連携による授業の開発 ・実験的要素を含んだ授業展開 ・プロジェクト学習（PBL：Project-Based Learning）
<p>石川県立 <small>こうぎょう</small> 工業高等学校 （工業）</p>	<p>【研究課題】 高等教育機関と連携したフロンティア職業人育成プログラムの開発 －大学院レベルの先端科学技術への挑戦－</p> <p>【研究の概要】 北陸先端科学技術大学院大学（JAIST）等の高等教育機関との連携を通して、高度な知識、技術及び技能に対する情熱とモチベーションを高め、自ら社会の変化や先端科学技術に対応できる将来の専門的職業人を育成するため、高度な内容を含む教育活動を展開する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 先端科学技術につながる基礎実習等を取り入れた授業を行う。 2. ゼミナール活動やプロジェクト活動を通じて、「論理的に考え判断する力」「学ぶべきものを見いだす力」「ゴールから課題を見据える力」を育成する。 3. 学問の本質・奥深さ・産業との結びつき等に触れさせる場面や、創造的な研究の醍醐味（だいごみ）を味わわせる場面を設定する。
<p>岐阜県立 <small>ぎふしょうぎょう</small> 岐阜商業高等学校 （商業）</p>	<p>【研究課題】 『会社設立・経営を通して実践力・想像力・起業家精神を身に付け、グローバルに活躍するビジネスリーダー育成プログラム』 ～Be the CEO Project（「生徒全員が社長」プロジェクト）～</p> <p>【研究の概要】 会社の設立、経営活動など実践的なビジネスの諸活動を、生徒一人一人が倫理観や経営者であるという自覚をもって主体的、合理的に行い、地域の産業の発展を図る創造的な能力、課題発見力・課題解決力、起業家精神を育成する教育プログラムを実施する。</p> <p>海外の商業高校と共同ビジネス活動を推進することを通して、高い語学力を育成するとともに、異なる文化と多様な価値観（Diversity）を理解し、多様な人々と共同でビジネス活動を行う包容力（Inclusion）を育成する。</p> <p>県内外の専門高校と連携し、商品開発や共同実習を通して、高校版「総合商社」を目指すとともに、日本の商業教育をリードする高いポテンシャルを有する専門高校へと高校改革を推進する。</p> <p>企業・大学・研究機関等と連携し、先端的な知識・技術を習得するとともに県内産業の活性化や日本経済の発展に貢献する学校を目指す。</p>
<p>静岡県立</p>	<p>【研究課題】 漁業・水産業及び、水産物流通の高度化・グローバル化に対応した、我が国の</p>

<p>やいづすいさん 焼津水産高等学校 (水産)</p>	<p>水産業界をリードする専門的職業人の育成 ～育成プログラムを通した水産高校の先進的教育課程の研究～</p> <p>【研究の概要】</p> <p>消費者ニーズや社会の動向を客観的に把握する能力を身に付けさせるとともに、漁獲、加工、流通、消費までを一つの産業として捉え、これらをマネジメントする能力を備えた次代の漁業・水産業においても活躍できる人材の育成を図り、以下のような取組を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・品質管理に関する研修や産業現場における就業研修 ・漁場予測と安定的で持続可能な漁船漁業経営、起業家精神育成を目指した企業経営の実践研究
<p>愛知県立 とよたこうぎょう 豊田工業高等学校 (工業)</p>	<p>【研究課題】</p> <p>将来の日本のものづくり産業の柱となる航空宇宙産業・次世代自動車産業を担う中核的専門人材を育成するため、地域、企業、大学等と連携し、グローバルメジャーの一員として活躍できるスーパー技術者の育成を戦略的に推進するための研究開発を行う。</p> <p>【研究の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研究開発課題に照らした特色ある教育課程の編成、及び、科目「実習」の指導内容や評価手法の精選 2. 研究開発課題に照らした外部機関と連携した科目「課題研究」の実践、長期の就業体験実習の実施 3. 専門的な技術用語を活用できる能力と態度の育成、留学生との交流 4. スーパー・サイエンス・ハイスクール校（愛知県立豊田西高等学校）との連携、工業科以外の学科（農業科等）との特色ある取組の融合
<p>兵庫県立 にしわき 西脇高等学校 (家庭)</p>	<p>【研究課題】</p> <p>cool Japan cool Bansyuori ー播州織再発見と西脇産ブランド発信ー</p> <p>播州織生産の最先端技術を身に付け、社会の変化や消費者ニーズに対応したオリジナルブランドを作成し、播州織の魅力を海外に発信できる将来のスペシャリストを育成する。</p> <p>【研究の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 播州織産地としての伝統ある織物や昔ながらの職人技を習得し、世界に誇る技術や日本の織物文化を理解するとともに、企業で使用している組織織制作コンピュータシステムを導入し、播州織生産の最先端技術を身に付ける。 2. 社会の変化や消費者ニーズに対応した、「売れる商品」の企画立案に向けて、播州織製品をプランニング、デザイン、リサーチ、マーケティング、プロデュースする力を身に付ける。 3. 地域の播州織技術と日本文化や西脇の織物文化を融合させたオリジナルブ

	<p>ランドを、NSH ブランド（西脇生活情報科ブランド）として海外に発信する。</p> <p>4. 播州織でつながる町やコミュニティづくりに取り組む。</p>
<p>兵庫県立 <small>たつのまた</small> 龍野北高等学校 （福祉）</p>	<p>【研究課題】 ソリューションフォーカスの視点に立つスーパー・プロフェッショナル・ケアワーカーの育成</p> <p>【研究の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域や他の教育機関と連携し、生徒が主体となって機能回復・機能維持・介護予防のためのレクリエーション企画運営や介護の知識・技術の提供を行い、思考力や表現力、判断力を養う。 2. 看護科（専攻科）と合同で医療的ケアについて学び、実際の医療・介護現場を想定した連携方法の実践を行い、相互理解を図る。また、初任者研修を行っている学校の指導教員を、外部講師のサポートのための医療的ケア補助要員として育成する。 3. 外部の社会福祉関係機関・企業との連携や、他学科との校内連携を図り、車いすファッションショー（Welfare-Collection）などの取組を行う。また、社会福祉士養成大学やNPO 法人との協働を通して問題解決志向を養う。 4. 一般のケアワーカーが介護技術を競い合う各種競技大会への参加等を通じて高度な介護技術の習得とその指導法を研究する。
<p>福岡県立 <small>ふくおかのうぎょう</small> 福岡農業高等学校 （農業）</p>	<p>【研究課題】 都市園芸に関する専門的な技術及び技能と経営感覚を身につけたアグリスペシャリストの育成</p> <p>～次世代の農業経営者や農業関連技術者を育成するための本科と専攻科が連携した教育プログラム研究開発を通して～</p> <p>【研究の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 九州大学や九州沖縄農業研究センターと連携し、先端技術を導入した栽培実験・実習により栽培管理技術を向上させる。 2. 農業生産法人及び農業関連企業において経営的な視点や自立した農業経営に必要な経営方法を学ぶ。 3. 「食の6次産業化プロデューサー」の内容を学習し、栽培技術の向上だけでなく生産物の付加価値を高める企画や広報の在り方を研究する。 4. 産業現場で必要な資格を有し、活用できる人材を育成する。

「日本最古の農業高校 震災・津波からの復活の取組み！ 地域で活躍する就農者増加に向けて」
 ～志・知・技を持った就農者増加へのV字回復～

地域を担う就農者の育成に向けて

自営就農
 農業大学校への進学
 農業法人への就職

7%
 (H24年度
 卒業生)



20%
 (H28年度
 卒業生)

- 志: 復興に寄与する高い志を持った就農者
- 知: 次代を担う、グローバルな視点を持った就農者
- 技: 高度な知識・技術を持つ専門的職業人



【連携先】

農家, 農業法人,
 大学, 農業大学校,
 企業, 研究機関, 地域の
 産業界等



連携
 ・
 協力

	魅力ある学習プログラムの構築	ネットワークの構築	農業の魅力発信
対応	【学科共通】 ・科目「農業と環境」の充実 ・農家でのインターンシップ ・フリーズドライを活用した商品開発 【各学科のプログラム】 ・農業科(米のブランド化) ・園芸科(スマート農業の実践) ・生活科(伝統野菜の保護と活用) ・食品化学科(地元食材の新たな活用法の提案) ・農業機械科(再生可能エネルギーの活用)	農業高校と地 域の農家・農 業法人、産 業界等とのネッ トワークの構 築	地域の小中 生や住民、地 域の産業界へ 農業と農業高 校の魅力を発 信 (HP, 成果報 告会, 各種大会等)

研究課題	学科の特徴を生かした, 魅力ある農業モデル の学習プログラムを構築, 復興の支えとなる実 践力(志・知・技)を備えた就農者を育成する。	・6次産業化等の 次世代型農業へ の対応 ・教員の指導力と 資質の向上	農業の重要性と魅 力を発信し、地域を 担う、次代を担う就 農者を育成する。
------	---	---	--

【背景】

東日本最震災からの復興 世界の食糧需要の拡大 農業技術の高度化 産業構造・就業構造の変化 就農者の不足



サカタ
SKT

IT-ACE プロジェクト

世界を変える・未来を変える「IT技術者」

情報イノベーション力

情報系大学・大学校・企業との連携

創造的な能力
実践的な態度

必要とする資質の育成

技術力 IT

高度情報
テクノロジーの育成
(Information Technology)

- a 情報技術者試験への取り組み
- b 高度専門資格への取り組み
- c 県立産業技術短期大学校との連携による技能五輪への取り組み
- d 地域内での5年一貫教育への取り組み

思考力 A

アルゴリズム的
思考力の育成
(Algorithmic Thinking)

- a ICTを活用した授業改善・研究
- b アルゴリズム的思考力の育成の研究
- c オンラインセミナーやプログラミングコンテストへの参加と支援
- d 学校設定科目の開設とカリキュラム開発

創造力 C

システム創造力の
育成
(System Creativity)

- a 大学・企業・地域等と連携した課題研究の充実
- b システム・テクノロジー・コンテンツ分野における「創造カゼミ」の実施
- c ITサイエンス部の活性化
- d SPH生徒研究発表会の実施

高い職業倫理観の育成 (Information Ethics)

志

E

- a 最先端研究施設研修
- b 大学・企業訪問
- c 情報科アドバイザー事業
- d 国際技術交流 (グローバルITフロンティア研修)
- e 長期インターンシップの実施と支援
- f スーパープロフェッショナルインターンシップの実施と支援
- g 他校の情報科生徒との交流
- h 小・中学生への情報活動支援

連携

企業

- ・IT関連企業
- ・庄内地区の企業
- ・情報科アドバイザーなど

地域

- ・酒田市
- ・小学校・中学校など

学術機関

- ・山形大学
- ・東北芸術工科大学
- ・山形県立産業技術短期大学校庄内校
- ・東京電機大学など

校内

- ・機械科
- ・電子機械科
- ・エネルギー技術科
- ・環境技術科
- ・ビジネス流通科
- ・ビジネス会計科
- ・普通科
- ・研究推進委員会

学習環境

学校と家庭との学習環境の
シームレス化の研究

距離と時間を超えた
学習環境の研究

高度専門資格取得のための
環境構築

研究の概要図

《常盤高校のSPHが目指すもの》

看護専門職者としての自覚を促し、生涯にわたって看護の専門性を追求し続ける力を育成する。

生涯学び続ける力

豊かな人間性

確かな知識・技術

科学的思考・判断力

広い視野に立った看護観を育てる

ボランティア活動等を通して奉仕の心を育て、命の大切さについて考える豊かな人間性を養う。自律した思考に基づいた倫理的な判断力を持ち、広い視野に立った看護観の確立を目指す。

〔専攻科2年〕
生命倫理に関するプロジェクト学習

〔専攻科1年〕
人間関係論によるコミュニケーション講座
生命倫理に関する授業

〔高校3～専1年〕
被災地ボランティアスタディツアー

〔高校1～専1年〕
夏休みボランティア活動体験・倫理に関する授業
〔高校1年〕
花・植物を育てる活動

臨床に即した看護実践能力を育てる

個別にICTを活用し、協調学習を組み合わせたアクティブラーニングの実践を通して、自発的な学習を目指し、確かな知識の定着を目指す。

また、病院等と連携し、知識・技術に基づいた応用力・実践的能力を育てる。

〔専攻科2年〕
技術の統合実践・評価

〔専攻科1年〕
技術の統合実践

〔高校2～専攻科2年〕
スペシャリストによる授業

〔高校1～専攻科2年〕
デジタルコンテンツを用いた看護の授業
協調学習

看護の探求、研究的態度を養う

研究的視点を取り入れた授業や様々な学習活動を通して、課題発見能力や問題解決能力を育てる。看護学の構築・発展に寄与しうる研究能力を身につけた人材の育成を目指す。

〔専攻科2年〕
看護研究

〔専攻科1年〕
研究についての講義

〔高校3年〕
研究的学習活動

〔高校2年〕
プロジェクト学習の手法を用いた研究的学習活動

研究の基礎を学ぶ授業
実験の要素を含んだ授業

〔高校1年〕
実験の要素を含んだ授業

〔高校1～3年〕
大学の指導者による専門性の高い実験・実習授業

病院との連携

大学との連携

地域・外部機関との連携

学ぶ力

プロジェクト学習を通して課題発見及び課題解決の手法を学び、これを活用して「豊かな人間性」「確かな知識・技術」「科学的思考・判断力」を相互の関連づけ、統合し、「学ぶ力」を「生涯学び続ける力」に育てることを目指す。

高等教育機関と連携したフロンティア職業人育成プログラムの開発

— 大学院レベルの先端科学技術への挑戦 —

科学技術への情熱・高いモチベーション 課題対応能力を備えた工業技術者

石川県立工業高等学校

電気科、電子情報科、材料化学科、テキスタイル工学科



自由に基礎実験・製作する力
論理的に思考する力
科学技術に関心を持つ力

1年

科目「工業技術基礎」

先端技術につながる基礎実習



先端技術講義



研究機関リサーチ

学習意欲

課題を発見・設定する力
論理的に思考・判断・表現する力
高いモチベーションを保つ力

2年

学校設定科目「先端科学技術」

ゼミナール活動



輪講

雑誌会

大学院生等の講義

プロジェクト活動Ⅰ

研究提案書作成



テーマ研究

大学の
最先端装置を
使った実験

質の高い「学び合い」
より深い理解を求める学びの態度
科学技術的な探究能力

課題を発見・設定する力
学ぶべきものを見出す力
自らの意思で行動を起こす力

3年

科目「課題研究」

プロジェクト活動Ⅱ

研究報告書作成



テーマ研究



雑誌会

大学院生の指導

大学の
最先端装置を
使った実験

テーマ例

- ・太陽電池の変換効率の研究
- ・音声に含まれる個人性情報の研究
- ・レオロジーを利用した材料の研究
- ・ナノ粒子の高次構造制御に関する研究など

連携

連携

金沢工業大学
革新複合材料研究開発センター

材料、環境の分野で連携

連携

東京大学
先端科学技術研究センター

駒場キャンパス、石川サテライトオフィス
情報、材料、環境・エネルギーの
分野で連携

北陸先端科学技術大学院大学

知識科学研究科、情報科学研究科、マテリアルサイエンス研究科と連携

大学教員、大学院生による生徒への指導

生徒が研究科セミナー等へ参加

高校教員の打合せ、研修

遠隔会議システムを併用



Creativity
創造力



Global Mind
グローバルマインド



Practical skills
主体的な実践力



県立岐阜商業高等学校
イメージキャラクター
LOB

会社設立・経営をととして実践力・総合力・起業家精神を身につけ、グローバルに活躍するビジネスリーダー育成プログラム

Be the CEO Project

机上だけでは終わらない商業教育を。

Be the CEO Projectは「生徒全員が社長」という意識のもと、学校がひとつの巨大な総合商社「株式会社LOB(仮称)」として機能し、その中で学生が自由な発想を武器にビジネスを展開できる仕組みである。
産官学の連携による生きた知識を得て、実際に企業経営を実践することで、商業教育の更なる専門性の深化を図る。

現役学生の
公認会計士による
コンサルティング
サポート



ソニールeビジネス
高校(韓国)との
連携



- ◎グローバルなシーンでのビジネスに必要な知識を体系的に学習
- ◎長期休暇時を活用し、ショートステイによる共同授業
- ◎英語を中心とした外国語教育にも注力



2014年1月/日本での交流の様子

株式会社 LOB(仮称)



- ◎学生が一定の資金を基に新規ビジネスを起こす“Be the CEOプロジェクト”をはじめ、複数の事業を包括した企業体
- ◎学生、教員、PTAにて運営(※会社設立は同窓会、PTAが行う)
- ◎初年度は従来通りの対面販売方式で事業を展開し、次年度以降からはネット販売へとシフト

株式会社LOB(仮称)の主な活動内容

学生が展開する
新規ビジネス



- ◎会社経営
- ◎商品開発・販売
- ◎新規ビジネス発掘

ネット販売の展望



各種商品のネット販売は、学内の“情報処理科”にて運営予定。
ソニールeビジネス高校とも密に連携し、東南アジア市場をはじめ、広く世界を見据えていく。

iPhoneアプリ
開発・販売



- ◎自社アプリ開発・販売
- ◎受託開発
- ◎学内の受託開発

デザイン工房



- ◎LOBの広報、販促
- ◎外部からの受託
- ◎学内の受託

県内外の大学、行政機関、民間企業との連携による強力なバックアップ体制

中央大学 商学部とのビジネス教育抱括連携



ビジネス分野全般における包括的連携教育を実施予定。マーケティングや経営学、ビジネスに関する法務など、ビジネスに関する学問的知識を深めていく。

企業との協働による創造力のトレーニング



実習風景と商品化した「県岐商ドリア」

企業と協働での商品開発に参画することで、アイデアを形にする手法やスキームを経験し、市場のニーズに即したアイデアを創造する力を向上させます。

ビジネスプランコンテスト実施

岐阜県商工労働部との連携

商工政策課の主催するイベントに参画をし、企業と共同で作業をし、社会貢献をしながら現場を学ぶ方法を模索。

高校生によるアイデアを発表できる場を設け、スマートフォンアプリの開発を体験できる機会を創出するなど、実社会のニーズ合ったスキルを習得するための場に積極的に参画。

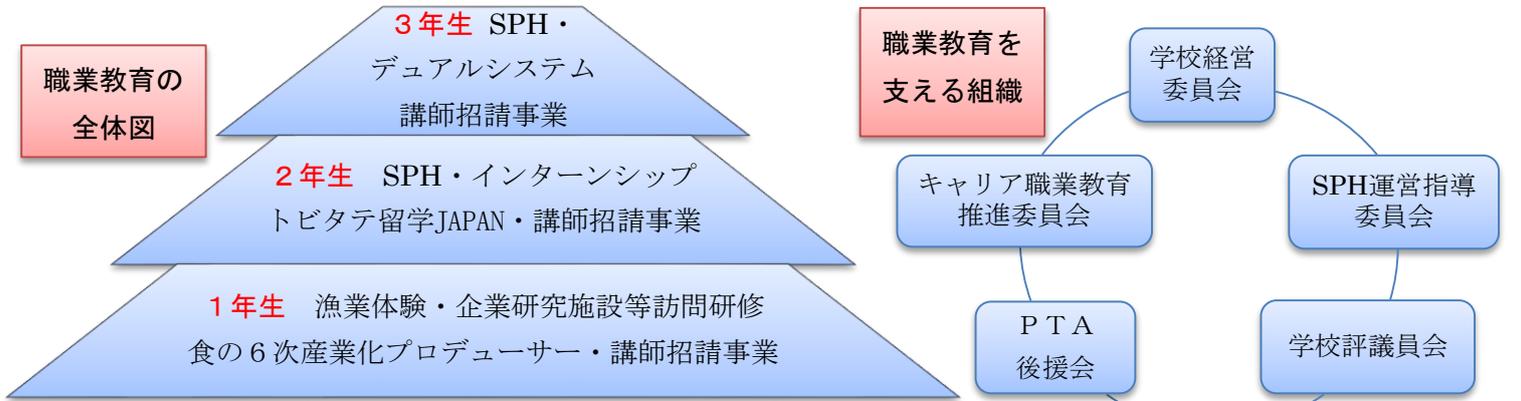
農・工・商が連携した 専門高校コラボレーション

農業やデザイン等の他業種の専門高校との協働プロジェクトを実施し、新しいビジネスを創造するための想像力を高める機会を創出。
県内:岐阜工業高校、岐阜農林高校
県外:長崎県立島原農業高校、佐賀県立有田工業高校

『スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール』研究イメージ図

〔目的〕

漁業・水産業及び、水産物流通の高度化・グローバル化に対応した、我が国の水産業界をリードする専門的職業人の育成



SPH 全科共通で実施するプログラム

研修先： N&N Foods Company Limited (タイ), 青島多福康食品有限公司 (中国)
大洋エアアンドエフ, マルハニチロ, アビー, 販売促進研究所



生徒の海外研修 (タイ)



大手水産会社における就業研修



品質管理に関する研修



商品開発シミュレーション研修

科学技術の高度発展に向けた専門性を高めるプログラム (一部抜粋)

主な連携先： 静岡県水産技術研究所, 漁業情報サービスセンター
日本郵船, 東海大学, 焼津信用金庫 ほか



駿河湾における「サガメ」の定植を目指した研究



漁場予測と安定的で持続可能な漁船漁業経営



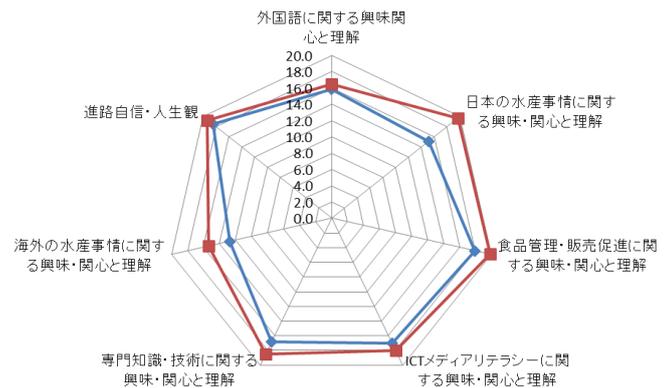
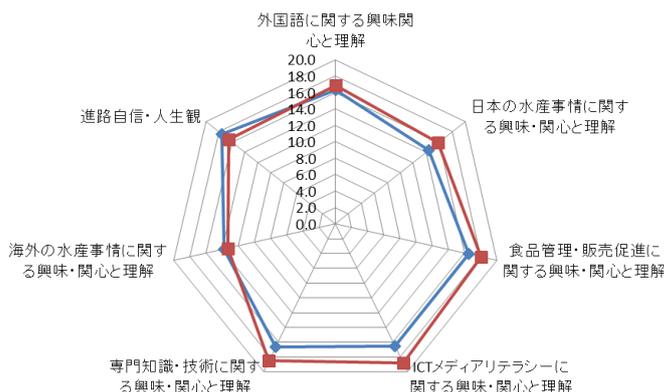
ウナギの資源保護と増殖技術研究



未利用資源の水産加工残滓を
を活用した発酵食品の研究開発

平成 26 年度 (1 年次) の成果 アンケート調査結果 (一部抜粋)

(左：生徒の海外研修 右：大手水産会社における就業研修)



豊田工業高校SPHの概要

次世代産業を担うスーパー技術者の育成

①次世代産業に必要な知識や技術・技能を身に付けたスーパー技術者の育成

機械科

次世代産業で求められる加工精度に対応できるスーパー技術者

「工業数理基礎」
「工業管理基礎」

電子機械科

次世代産業の現場で求められる高度な生産技術を駆使できるスーパー技術者

「機械工作」
「電子情報技術」

自動車科

次世代自動車産業で求められるPHV・EVに対応できるスーパー技術者

「自動車工学」
「自動車設計」

電子工学科

次世代産業で求められる組込技術を駆使できるスーパー技術者

「電気機器」
「通信技術」

1年生

工学に関する基礎的・基本的な知識、技術・技能の確実な習得

学校設定科目「**工学概論**」の新設

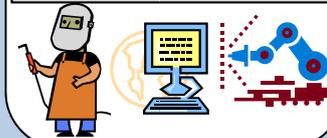
②実践的な技術力を身に付けたスーパー技術者の育成

地元産業界との連携

自動車産業・航空宇宙産業を担う人材の育成

取組概要

- ・長期企業実習の実施
「**実習**」
- ・企業と連携した科目
「**課題研究**」

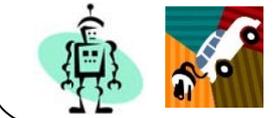


大学等との連携

ロボット工学・新エネルギーの学習など最先端技術の習得

取組概要

- ・ロボットの研究
- ・太陽光発電や光触媒を利用したクリーンエネルギー技術の研究



③グローバルな視点を身に付けたスーパー技術者の育成

グローバルな視点の育成

外国人との交流によるグローバル人材の育成

取組概要

- ・海外派遣事業への参加
- ・日本企業で学ぶ留学生との交流



英語によるコミュニケーション能力の育成

積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成

取組概要

- ・ロールプレイを活用
- ・職場の場面設定
- ・海外赴任を想定
- ・工業に関する英語を活用した授業



④豊かな創造性を身に付けたスーパー技術者の育成

SSH校との連携

スーパー・サイエンス・ハイスクール校 県立豊田西高校との連携

取組概要

- ・トヨタ自動車東富士研究所の訪問
- ・モデルロケットの設計

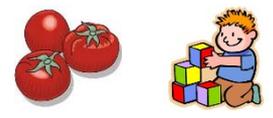


専門高校等との連携

西三河地区のその他の専門学科等との特色ある取組

取組概要

- ・農業：栽培制御
- ・福祉：介護補助
- ・特別支援：ユニバーサルデザイン



研究開発課題

播州織スペシャリストの育成と播州織ブランドの発信

研究開発の目的

- 1 播州織生産の最先端技術を身につけた将来の播州織スペシャリストを育成する。
- 2 地域産業を活かした新たな「家庭に関する専門学科」の在り方を提案する。
- 3 NSHブランド（西脇生活情報科ブランド）を発信する。
- 4 播州織で織りなす町づくりを行う。

coolJapan coolBansyuori

—播州織再発見と西脇産ブランド発信—

柔軟な発想力

実践力

協調性

責任感

情報リテラシー

プロデュース能力

コミュニケーション能力

生き抜く力

企画力

地域への愛着と誇り



播州織の再発見と
最先端技術から「新・播州織」

地域産業を活かした新たな
「家庭に関する専門学科」

NSHブランド
—高校生ブランド—

播州織で織りなす町づくり
—町の活性化とコミュニティー—

授業の発展

西脇市との連携
町づくりプロジェクト

大学との連携
産学連携プロジェクト

商業高校との連携
リサーチとマーケティング

専門職卒業生との連携ブランド製作

洗練されたものづくり提案

イメージマップや
ポートフォリオによる提案

インターンシップ
播州織の糸や織、素材の理解
TEX-SIM の習得

兵庫県立繊維工業技術支援
センター見学
最先端技術の理解

織布工場見学
職人技・伝統の理解

SNS
ネットワーク

NSH
ブランド

地域
コミュニティ

実践力

思考力

基礎力

地域活動



新・播州織
海外へ情報発信
オリジナルブランド
ファッションショー

町づくりイベント実施
企画—発表—実践

梅吉亭
播州織で一日シェフ

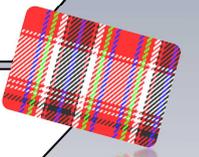
播州織販売
アンテナショップ

播州織作品展示
コンテスト参加

文化祭バザー
播州織小物販売



老人ホーム訪問
企画提案から実践



ソリューションフォーカスの視点に立つ

スーパー・プロフェッショナル・ケアワーカーの育成

指導法の研究

生活支援技術の再構築

人材育成



自信体得

介護技術・技能

の向上

<支援技術>

介護過程など

・介護技能
コンクール

・AJCC
見学研修



<応用技術>

入浴、排泄、移動など

・楽ワザ介護

・オムツ研修



<基本技術>

身体の動き、移動など

・楽ワザ介護

判断力

の向上

<専門技法>

実践

仮説・計画 → 振り返り → 評価



<分析技法>

集める⇔分析する

↓
抽出する



<基本技法>

みる・きく・はなす
書く・読む

3年次

<実践力の向上>

・医療的ケア
(痰の吸引)
シミュレータの活用

実践力

・タブレットの活用
・介護過程の実践

・課題研究
・特別支援学校との共同学習

2年次

<基礎を充実>

・医療的ケア
(経管栄養)
シミュレータの活用

思考力

・共同開発
(CHARM Pad)
(DANCE SYSTEM)

・介護教室
・ICFの視点

1年次

<心構えの体得>

・生活の理解
・たつの荘
との交流
・デイサービス

基礎力

・実習報告会
・見学実習
・特別非常勤講師
活用講座

<授業>

- ・生活支援技術 (1~3年)
- ・介護総合演習 (1~3年)
- ・介護過程 (1~2年)
- ・コミュニケーション技術 (2年)

<実習>

- ・介護実習Ⅰ (1年次 140時間)
(2年次 140時間)
- ・介護実習Ⅱ (3年次 175時間)

<事業>

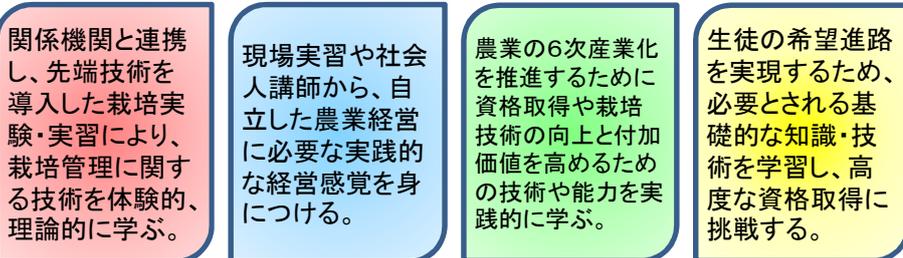
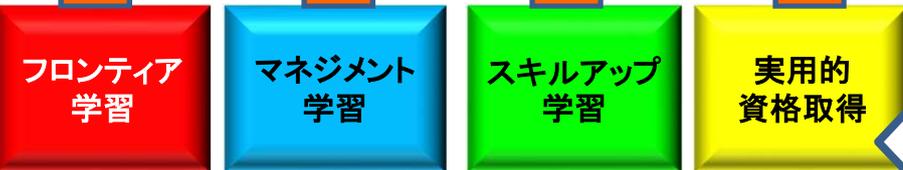
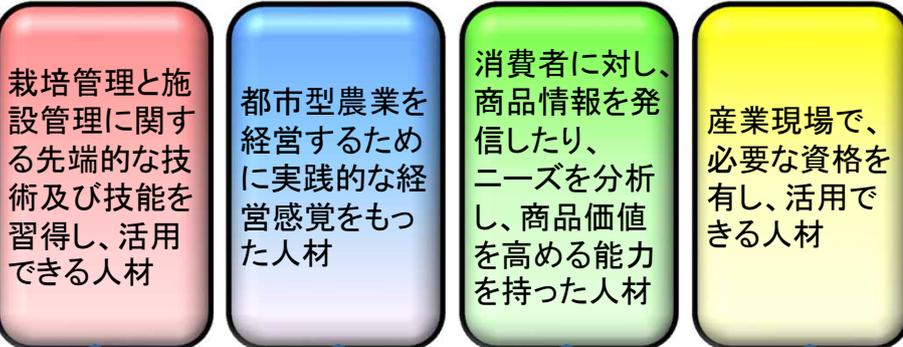
- ・水無月のつどい (1~3年)
- ・西播磨総合リハビリテーションセンター見学実習 (1年)
- ・西はりまリハビリテーションセンター見学実習 (2年)
- ・Welfare-Collection (3年)

3J (授業・実習・事業) の充実

福岡県立福岡農業高等学校
スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール事業概要

都市園芸に関する専門的な技能と経営感覚を身につけたアグリスペシャリストの育成

農業及び農業関連産業のプロフェッショナル育成



他の農業学科への成果の普及(カリキュラム開発)
普通高校・総合学科への成果の普及(ものづくりの支援)
小・中学校に対する支援(農業体験学習の指導)



九州大学

九州沖縄農業研究センター

最先端の栽培管理技術指導
特色ある教育課程の研究
共同調査・研究の助言



農業生産者

福岡県農政部

J A

直売所

栽培に関する管理技術の指導と経営戦略指導及び助言



関係企業

インターンシップに係る調査・研究指導及び助言

連携・協力

カリキュラム開発